



世界の食、 給食及び農業

みんなでつくろうええまち堺市民1000人委員会編
市政レポート第15号

2024年1月



市民 1000 人委員会は「第 12 回市政チェック学習会」を 2024 年 1 月 7 日（日）午後 2 時から 4 時まで堺市産業振興センター 4 階セミナー室で行いました。集会参加は 76 名でした。

そのご報告を『市政レポート第 15 号』としてお届けします。

司会は、吉村薰さん（南区）でした。



市民 1000 人委員会顧問

高橋 保さん

ご出席の堺市議会議員の皆さん

小堀清次さん・西 哲史さん

林原 徹さん・藤本 憲さん

藤本幸子さん・渕上猛志さん

森田晃一さん

(五十音順)

もくじ

*開会あいさつ

笑福亭竹林さん（落語家・市民 1000 人委員会事務局） 2

*報告 学校給食の役割を考える

岸上真理子さん（堺市の学校給食無償化を求める市民の会） 3

*報告 食と農業の今とこれから

田中丈悦さん（有機農家 田菜ファーム） 9

*質疑応答

13

*12月市議会 各市議に聞く

12月市議会の論点メモ 15

森田晃一議員 16

渕上猛志議員 17

藤本幸子議員 18

小堀清次議員 19

*市民運動報告

『夢見る小学校』上映会報告 塩野直美さん 20

『語り合う市民の集い』文書報告 松永健治さん 21

『2024 新春学習交流会』のご案内 丹野 優さん 23

*行動提起 万博中止 費用全額被災地に

堤 淳雄さん・田中晋一さん 24

*閉会あいさつ

小松清生さん（市民1000人委員会事務局）

25

*第5期会計報告

26

<開会挨拶>

笑福亭竹林さん（市民1000人委員会事務局）

明けましておめでとうございますというご挨拶を申し上げるのが

本当に憚られるような、とんでもない新年になりました。開会の挨拶

をというふうにお伺いした時点では、新年にふさわしくなんかおもろ

いことの一言でも言えっていうふうなご指示なんかなとは思いまし

た。けれども、ちょっとそんな気分でもないので、真面目にお話をさ

せていただきます。



個人的にも、もう正月がそんなにめでたいっていうような歳でもなくなりました。まあ、皆さん

もそろそろそんな感じです。そろそろ皆さんええ歳をお迎えになってる方が多いかなと思いま

す。

ええ歳になりました、去年あたりからふつとした時に気づいたと言いますか感じたんですけど

も、子どもの頃から世の中にはいろんな問題がいっぱいあって、いろんな課題がいっぱいあって、

戦争もいっぱいあって、でもこういう大きな問題って、きっと偉い人が頭のええ人が解決してくれ

はんやなっていうふうにぼんやりずっとずっとと思ってましたけど、どうもこの歳になって改め

てそんな人いたはらへんって、思うようになったというか気づいた今日この頃です。

あの暗いニュースが続いてますけれども、とんでもないニュースもいっぱいあって、とうとう

自民党から逮捕者が出来ました。維新もおそらく万博がきっかけで大口けをするんやろうと思いま
すし、我々の商売で言うならば、吉本の天下もひょっとしたら終焉の迎えと違うかなって、そん
なふうにも思います。

大変な新年ですけど、どうも歴史の大きな転換点を迎えるつあるん違うかなって思います。
今年 68 になります。まあ、あの変な言い方ですけども、今年というよりは最後の 12 年…実は
前田さんと出会って 12 年なんですよ。一回りしましてね、新たな 12 年、そして年齢的にひょ
としたら最後の 12 年がはじまるんやないかと…。

どんな歴史の転換点を迎えるつあるのか…それを目撃できる。その真っ只中に立ってる…ひょ
としたらその転換することのちょっとした力にもなれるん違うかなって思ったら僕、ものすご
くわくわくします。

とんでもない新年を迎えましたけど、ひょとしたら僕は今いい時代に生きさせてもらってる
なあとも思います。いろんな過ごし方あるんじやないと思いますけども、この 1 年…次の 12 年、
折角ですから皆さんと共にわくわくしながら
しましょう。

新年にあたりましての提言でございます。
どうもありがとうございました。



学習会冒頭 参加者で能登半島震災犠牲者に黙祷



<報告> 学校給食の役割について考える
岸上真理子さん（堺市の学校給食無償化を求める市民の会）

私は一昨年に北区でフードバンクに関わらせていただいたのをきっかけに子どもの貧困について考え、全国的にも給食費無償化というのが各自治体で進められているので、堺市でもそれを求めていきたいということで無償化を求める活動を昨年一年させていただきました。

この場をお借りして、その署名活動の報告をさせていただこうと思います。第一回目は3月10日に提出し陳情させていただきました。11月13日に2回目の提出で、合計で6308名の方の署名提出をさせていただきました。

この間、ご協力いただきありがとうございました。今年度は、一学期は給食費の徴収がありましたが、市長選で野村さんと永藤候補の政策のやり取りの中で給食費が争点となる場面があり、また署名活動の甲斐もあり、二学期三学期の無償というものが勝ち取れた形になりました。来年度のことにつきましては、1月から予算が決められると思うんですが未定と聞いています。もちろん物価高騰は続いているし、またコロナやインフルエンザなどいろんな感染症がまだまだ流行っていて、頻繁に学級閉鎖、学校閉鎖が続いている中で、お子さんを抱えながら働いている保護者の方々、大変な思いされているんで、まだまだ来年度からも無償化を求める活動を続けていきたいと思っています。またご協力をお願いすると思いますが、よろしくお願ひします。

本題に入らせていただきます。そういった署名活動の中で、私が周りの保護者の方や学校の先生などにいろいろお話を聞く機会があって、給食 자체を考えるっていう機会が増えたので、そんな中で聞いた話とかをここでお話しさせていただきたいなと思っています。

私は本当に素人で去年から給食のことをいろいろ勉強し始めて全然わからないこともあるので、認識違いとかあったらまたご指摘いただけたらいいなと思っております。

順番にお話しさせていただきます。

まず、栄養補給です。農林水産省の定めた食育基本法の前文に「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である。」とした上で、食育を「生きる上での基本であり、知育（算数や国語）、德育（道徳）、体育の基礎

堺の学校給食無償化を求める署名報告

• 2023.03.10 4541名
• 2023.11.13 1767名

計 6308名

給食の役割

栄養補給

- ・ こどもたちの食生活と栄養摂取状況
- ・ 「腸脳相関」という考え方
- ・ 学校給食の現状

食育

- ・ 行政の食育への取り組み
- ・ 地場野菜の活用

楽しい時間

- ・ 孤食を避け食を介して人と交わる
- ・ 不登校児の選択肢

安心・安全な食

- ・ アレルギー対応
- ・ 食中毒対策

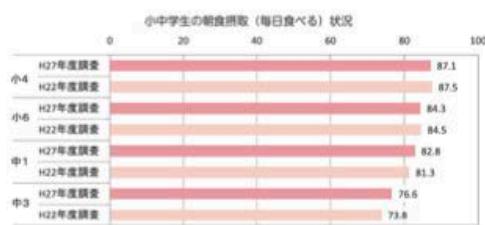
となるべきもの」と書かれています。

健全な食生活を習慣づけることが人間を育てる上でかなり重要であると言えると私は認識しています。

栄養補給

- ・ こどもたちの食生活と栄養摂取状況
- ・ 「腸脳相関」という考え方

朝食を毎日食べる人の割合は小学4年生で87.1%、小学6年生で84.3%、中学1年生で82.8%、中学3年生で76.6%となっており、学年が上がるにつれて低くなっています。中学生では平成22年度調査より改善しています。



20歳未満・20歳代

- ・ 食育への関心
他の年代に比べて低く、特に男性で低い
- ・ 朝食摂取
20歳代男性で朝食欠食の割合が高い
- ・ 食事回数
1日3回食べている人の割合は、男女とも20歳代で低い



- ・ 体格
20歳代女性で「やせ（BMI18.5未満）」が2割と多い
- ・ 運動
減塩に取り組んでいる人の割合が低い
- ・ 外食
外食の利用が多く、何も気をつけずに外食のメニューを選択する傾向

「腸脳相関」：生物にとって重要な機関である脳と腸がお互いに密接に影響を及ぼしあうこと

仲間と食事をすることにより脳内ホルモン（幸せホルモンと呼ばれる）のセロトニンが分泌され精神に作用し、心身の発達に重要なはたらきがあるといわれています。

また、腸脳相関という言葉があります。生物にとって脳と腸がお互い密接に影響を及ぼし合うことがあるそうです。例えば、食事をすることによって、脳内の幸せホルモン

と呼ばれる安らぎを感じるセロトニンが分泌されてそれが精神安定につながり、そのことによって心身の発達がうまくいくという超脳相関、腸と脳が影響し合う、逆と言えば、ストレスを感じている時とか、緊張している時お腹が痛くなるっていうのも腸脳相関らしいです。そういう形で食べることによって、脳に影響を及ぼし合って、知識教育などをしっかり吸収できる脳に育つということが科学的に言われています。

堺市の調査で子どもたちの今の食事について知るデータがありました。堺市の子どもたちは小学生でも朝食を食べられていない子どもが1割強ぐらい、中学生になったら2割3割ぐらい朝食取っていないという子が多いということです。20歳未満でも、やっぱり朝食が抜けているっていう子どもが多いことと、女性だと痩せ型が多いということ。このほかにも野菜があまり取れていないことなどがこの調査でデータとして出ていました。

しっかり食事をして身体を作ることを学校で教えて、健康的な食生活を習慣づけることが必要だと思います。

次に今の給食の状況を紹介します。この間の物価高騰で全国の給食が質素になっていると

東海テレビ「NEWS ONE」



「児童『肉が食べたい』 食材高騰で質素な小学校の給食費を名古屋市が値上げへ」

名古屋市教育委員会は来年度から食材費高騰を受け、市立小学校の給食費を値上げ。給食が質素すぎると指摘を受けての値上げですが、この10年で驚きの変化があったと報道され、話題になりました。



いうのが話題になりました。東海テレビが特集したのが分かりやすかったので紹介します。この番組が10年間の比較をしたものです。10年前はエビフライが一年に6回出ていたのが0回になった。ヒレカツは6回から1回、デザートは83回やったのに半分の41回に減った。逆に高野豆腐や切り干し大根などの比較的安価で調達しやすいものは回数が増えたということで、これに批判を受けて、名古屋市は給食費の値上げをすることになったという状況です。

堺の状況を見てみるとたまたまこの日こういうメニューだったんですけど、似通っていますよね。毎日こういうわけではなく、日によればちょっと豪華な日があったりするのですが、堺も食材費高騰によりメニューが少しさみしい日があるようです。

給食費無償化の活動のなかで、給食が1日で唯一の子どもの食事になっているという家庭の話も聞きました。経済的な理由ももちろんあるんですけど、子どもの好き嫌い、偏食がひどいようで、それも食育が進んでないせいなのか、学校の給食で栄養取れてるなら家では無理矢理食べさせないという考え方の保護者も居るようです。そういう子たちにとって、これが唯一の一日の食事だったら明らかに栄養不足だと思うのです。

ちゃんとお家でご飯取れている方は、お家で補えるから大丈夫という認識の方ももちろんたくさんいて、家庭での食育もきちんとできるのが理想ですが、まず学校で子どもたちの食育を進めなければならぬないと感じています。

一ヶ月の献立を見ると、海外の郷土料理や何とか子どもたちに野菜を食べてもらおうとすごく工夫されたメニューを作ってはるなっていうのを感じ取れるんですが、そもそも予算が少ないので、とても栄養バランスの取れた良い給食とは言い切れません。

給食内容の変遷（農林水産省HP）



農林水産省のホームページに昭和初期から令和までの給食の比較が写真で掲載されました。私は小学生時代が平成だったんですが、こんなに食べてたかなっていう記憶はあるんですけど、この一品少ないぐらいはあったかなって

いう感じなんですよね。で、令和もこの内容だと書かれていますが、明らかに名古屋や堺の給食の状況とは違いますよね。農林水産省はどこを調査してこういう風なの？理想というか目標なのかもしれないですね。

では、こういった質素な給食になってしまった理由を考えていきます。名古屋の事例のように、物価高騰による食材コストが高くなってしまったことで、保護者負担額を増やすっていうケースもあるんですけど、なかなかそういった場合、保護者の理解を得ることが難しいっていうことがあります。

また、好き嫌い、偏食がひどい子が多く給食で野菜をたくさん使うとかも難しくなっています。また給食時間自体が短く食べるのがゆっくりな子は食べきれないという問題もあります。それによって食べ残しが増えるともちろんフードロスの問題に直結します。

それから調理員や栄養士さんが業務委託化が全国的にされて、非正規雇用が多く、技術不足なところがあったり、工夫した献立で野菜を多く使うにはどうしたらいいかとか、味付

食育

食育推進基本計画

2005年に制定された「食育基本法」に基づき、食育の推進に関する基本的な方針や目標を農林水産省が定めたものを「食育推進基本計画」といい、各自治体それぞれで約5年周期で食生活や食育に関するデータの収集や目標を定めています。

しかし、社会的背景における科学的な分析がほとんどなされておらず、現実離れした単なる理想を述べているにすぎないと一部批判されています。

けや彩りを試行錯誤することがなかなかできないという状況があると思います。

食育についてですが、農林水産省が2005年に食育基本法を制定しました。目標を掲げて5年ごとに食生活や健康のデータを取り、それに基づいて目標を定め、各自治体はそれに沿った目標計画を立てています。これを見ても、朝食欠食のパーセンテージを出しています。ですが、この数値が何を示しているのかの調査がなされていないように感じます。朝食を見る習慣がないのか、学校が遠くて朝準備する時間がないのか、ネグレクトを受けて

いるのか、何が原因か調査しないといけないんですよね。もしネグレクトの場合だったら、対応する課は変わってきます。教育課じゃなくなると思うんですけど、そういったところまでちゃんと社会的背景を鑑みて科学的に分析していかないと解決にはつながらないと思いますが、見た目だけの目標を掲げているんじゃないかという保護者からの意見もありました。

そういった中で充実した給食を実現させている自治体もあります。それは地場産物を活用して給食をこんなに充実させたという紹介がされていました。

地場産物の活用についての効果ですが、生産者側、供給側の効果としては、安定的に決まった価格で販売できる。地元のものなので運搬費も節約でき、給食梱包などする必要がなくその資材や賃金手間を省けたり、食育を通じて子どもたちとも

交流できるといった利点があります。で、加工給食側の効果としては、新鮮で安全なものを食べられる、旬のもので栄養価が高いものが食べられる。また、生産者への感謝の気持ちから好き嫌いが減り、残食が減った。また、地域への効果としては中学校の職業体験で、今まで農家になりたいという生徒は一人もいなかったが、今年度は二名の生徒から希望があったと秋田県の五条木町の中学校の事例です。これは、地場産物を食べるということで食育につながるということだと思います。

また生ゴミ処理機を校内に置いて、食べ残しと作る時に出てしまった野菜の切れ端を堆肥にすることができる機械を導入したという事例もありました。食べ残しを処理する考えでは効果的だと思い紹介しました。

次に楽しい時間としての給食を考えます。子どもたちにとって、パンパンに詰め込まれた授業のあとに訪れる至福の時は給食の時間だと思います。コロナ禍でこどもたちは給食での黙食を強いられました。せっかくの友達とのコミュニケーションの場を奪われ楽しくなくなったという話もたくさん聞きました。給食は、友達とのコミュニケーションの場としても重要であるということ、また先ほど紹介した脳の発達にも重要な時間であるということをしっかり考え、より楽しめる時間にするための工夫、給食時間の延長なども考えてほ

学校給食への地場産物活用の取り組み



しいなと思っています。

埼玉県三郷市で、定期的に小学校6年生か中学校3年生にを対象に、デザートが選べるバイキング給食を実施しているそうです。堺市でも2025年から中学校給食が始まりますが、他の自治体で中学校給食を実施している自治体の方が、準備に時間がかかりすぎて食べる時間が5分しか

ないとかいう話を聞いたので、その参考になったらいいなと思って紹介しました。アレルギーや食中毒の問題にどう対応しているのかは、ネット情報で載っていませんでしたが、調査できるようあればしていただきたいです。

最後は安心安全な食についてです。堺はO-157の事件がありました。これは、たまたま堺で起こったO107岸上14わけではなく起こるべくして起こったという要因がいくつかあったんじゃないかなと思っています。例えば、事件当時、給食食材を保冷機能のない配送トラックで運搬し、学校にも保冷設備がなかったため7月の30度を超える高温状態で数時間食材が放置されてしまっていた。これも大きな原因だったではないかということもあり、設備をしっかりと整えることで、対策を充分とて、安心安全な食を目指してほしいと思います。また学校にある程度食料を貯蔵できる施設があれば、災害時の配給用の食材の備蓄にもできると思います。

最後にアレルギー対応です。堺市は今年度まではアレルギーの食べ物が入っているメニューは、そのアレルギーの食べ物だけを取り除くようなことができました。例えば、最後にトッピングするようなものとかだったらそれを除いたメニューを出すっていう徐食提供がされていました。ですが、小麦アレルギーの子はパンが食べられないので、完全に除去になってしまっています。来年度からは、除去しないといけない食べ物が入っているメニューは、全く提供しないことになったそうです。もちろん、その分おかずが減るので、お家からおにぎりを持ってくるとか、プラスアルファ何か保護者の方は毎日用意しないといけないということがあるそうです。アレルギー症状が出てしまわないよう安全のための対策ですが、アレルギーの子もみんなと同じものを一緒に食べさせたいというアレルギーっ子の保護者の声も聞きました。



給食に求めるまとめです。物価高騰によりおかずを減らすのではなく、地場野菜などをもっと積極的に利用し、質も量も味も向上してほしい。堺でも「堺のめぐみ」という地場野菜を給食に使っていますが、給食の献立ではまだ一部で、毎日ではないのでもっと品目も増やし、もっと積極的に使ってほしいなと思っています。給食を食育の時間とらえ、子どもたちに食生活の整え方を学ばせてほしい。調理員や栄養士さんを正規雇用にして工夫したメニューや調理法で内容を充実させてほしい。給食の時間が子どもたちにとって本当に安らぐ良い時間にしてほしいということです。施設設備をしっかり整えればもっと色々な給食ができると思います。生野菜などはなかなか出しにくいけれど、施設設備が整っていて、管理状態も良ければ生野菜も出せるんじゃないか、と素人ながら思っています。アレルギーの子たちも安心して食べられるようにすることと、またアレルギーがない子もアレルギーに対する知識を持ってほしい。それも食育だと思うので、取り組んでいただけたらしいなと思っています。

最後にですが、どの子も平等に美味しくバランスの取れた給食を無償で食べられるようにしてほしい！ということが私たちの願いです。ご清聴ありがとうございました。

<報告> 食と農業の今とこれから

田中丈悦さん（有機農家 田菜ファーム）

みなさん、こんにちは。ご紹介いただきました堺市の南区で有機農家を営んでおります田中です。私がいただきましたテーマは「堺の食と農業」というテーマで。食と農業については問題がかなり広範囲にわたります。私が用意したのは 26 ページのスライ



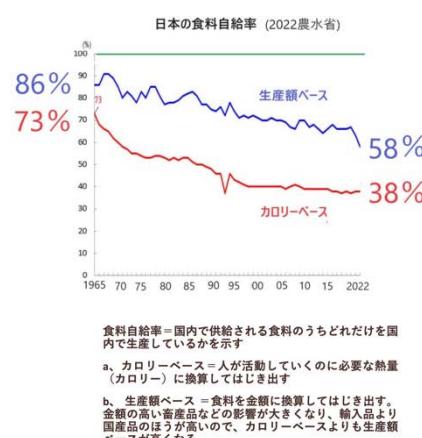
ドなんですけども、これを全部や

ると到底 20 分の中にも収まらない

いということになりますので大

幅にカットします。中身は、食と

農業の今、それとなぜ今こういう

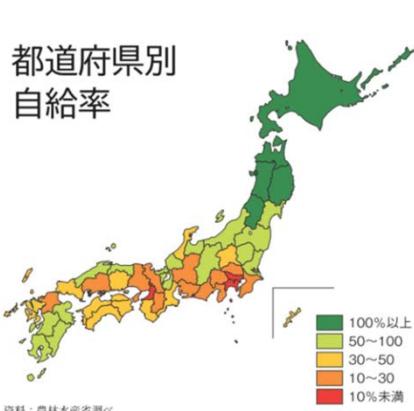


問題が起こってるのは点と、岐路に立つ給食、堺の学校給食と農業というテーマです。

まず初めに現在の日本の食料自給率です。人間が生きて活動していくためのカロリーベースでは、1965 年の 73% から今の 38% に落ちていています。次に右がカロリーベースの各国の食料自給率。日本は下の方です。都道府県別に見たのが次の図です。日本で 100% 超えているのが北海道と 4 県しかありません。自給率が 10% 以下は 4 つ。東京 0%。大阪はわずか 1%。これ自給率の状況です。

自給率が下がるということは耕作面積も下がっているわけです。

耕作面積は 1965 年には 608 万ヘクタールだったんですけども、2021 年には 28% 減り 173 万ヘク

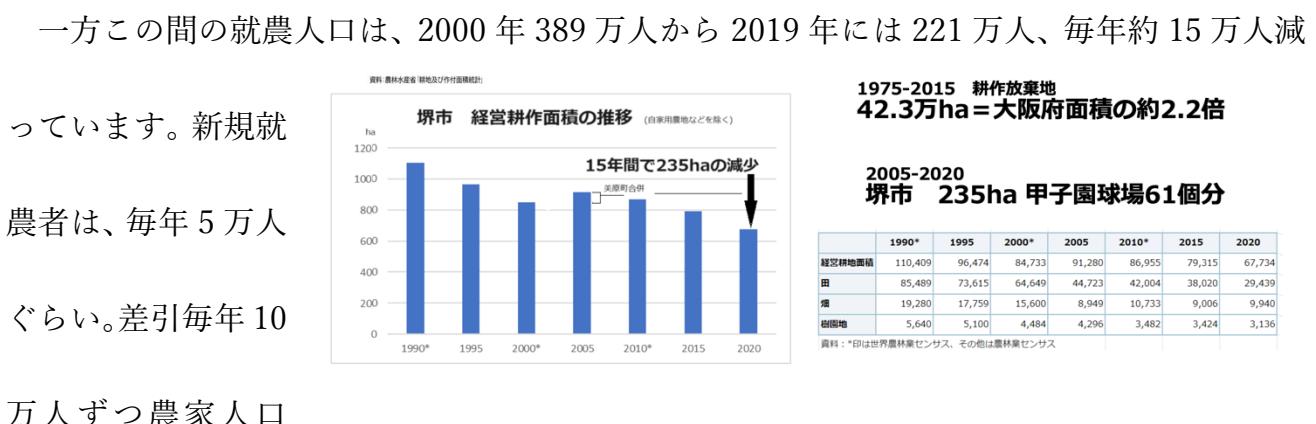


100%超え 5道県	
北海道	217
秋田	200
青森	125
岩手	105
山形	143
新潟	111

10%以下4都府県	
埼玉	10
神奈川	2
大阪	1
東京	0

2020年 農水省

タル減となっています。それとともに「耕作放棄地」がこういう形で増えています。左の図は堺。14 年間で 235 ヘクタールが減りました。全国の耕作放棄地が今大阪府の面積の 2.2 倍、堺市の耕作放棄地は甲子園球場の 61 個分。



が落ちています。堺市でも 2005 年から 15 年間で 1300 人程度減っています。それに比して年間新規事業者 8 名というのが実態です。

なぜこんなことになるのか。はっきりしていて、農作物が安すぎる、低価格である。これでは農家は生計が立たないということで跡継ぎがいらず、農家の高齢化が進み、離農者が増えている。その結果、自給率も耕作放棄地が増えています。

農産物の低価格化の基本的な原因は2つ。1つは農作物の輸入自由化です。日米貿易摩擦以降、日本に農作物がどんどん輸入されています。2つ目は農業の機械化効率化です。この中には農薬や化学肥料も入ります。例えば、かつては田植えができる自動的な機械はできない、不可能と言われていました。すごく複雑ですから。しかし田植機が開発され、それまで1日かかっていた田植えが1時間でできる。手作業でやっていた耕運もトラクターが入って、2日3日かかっていたのがわずか1時間2時間でできてしまう。すごく効率化が進んでいるんです。この2つが農作物低価格の大きな原因です。

紹介したいのは、他の国では農業・農家に対する支援策が採られています。特にスイスの場合は2017年の9月に国民投票が行われ、「食料主権」、食の安全保障が定められ、環境

●世界の農業のいま 世界の農業はどうなっているか

EU-共通農業政策 CAP

① 価格支持(最低価格保証)

作物：小麦、大麦、トウモロコシ、コメ等の穀物、牛肉、バター

② ▶直接支払いへ（農業者の収入の保障）

アメリカ-公的補助は40%、市場価格と生産費コストの差額を補助

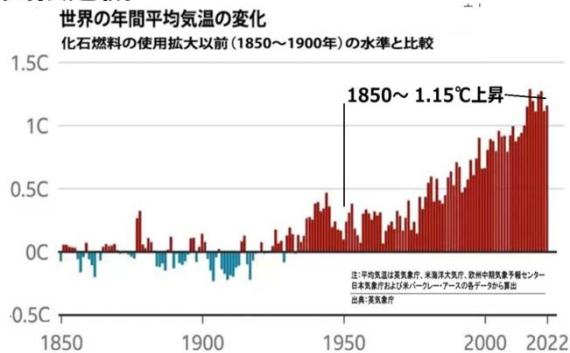
公的補助の国 スイス 100% フランス 95% イギリス 91%

スイス-2017年9月国民投票 78.7%の支持で食料安全保障の条項を憲法に追加-最低生産の維持を条件に直接支払い制度を改正導入
「食料主権」を定め、環境保全と貿易自由化に備えスイス農業の維持を目指した。

保全と貿易自由化対策として、スイス農業の維持をめざして、農家に対して直接補助を行うという農業政策。日本の農業だけ見ているとこんなもんかと思いますけども。他国を見たらびっくりする農業政策が行われています。私もこれを知った時は衝撃的でした。

●農業・農家が直面している危機4

地球温暖化 気候危機



COP の目標ですが、去年既に 1.15°C 度まで上昇しています。今から 3 年後の 2027 年には 1.5°C を超え、目標値は達成できないことが予測されています。去年の夏の状況を思い出してもらうと分かるんですけども、大阪の猛暑日が年 27 日。これは 22 年の 1.9 倍です。夏日の観測の初日が 3 月 22 日、終わりは 10 月 24 日。これだけの期間が夏日ゾーンに入ります。畑で何が起こるかというと、人参などが暑すぎて種をまいても発芽しない。水不足で里芋や菊芋が枯れる。こんな事態が起きます。スーパーに行けば、野菜は北海道産ばかり。こういうことがあります。

そして「栽培暦」が通用しない。夏が 1 ヶ月後ろにずれています。10 月の気候が 11 月へ、11 月が 12 月に延びるようになっています。でも春はずれないんですよ。春は早いんです。となれば、小さいまま野菜が育って、春になると薹（とう）が立っていく。つまり市場に出せる野菜が育たない。これは大きな死活問題です。

今の農家が直面する危機はいくつかありますが、その 1 つが地球温暖化です。産業革命前の 1850 年、ここから 1.5°C 上昇まで抑えようというのが国連

そして生産資材の価格が高騰しています。肥料、資材で1年間で22%あがりました。その結果、農家所得が年78万円下がったというデータですね。

●農業・農家が直面している危機-他 生産資材等の高騰22%・農業所得78万減

21年から種、肥料、資材、燃料など軒並み22%アップ

	20年から22/3月の物価指数アップ率
肥料費	10.7%
農薬費	3.3%
飼料費	21.9%
動力光熱費	27.4%

2021年の実績と2022年の農業所得予想

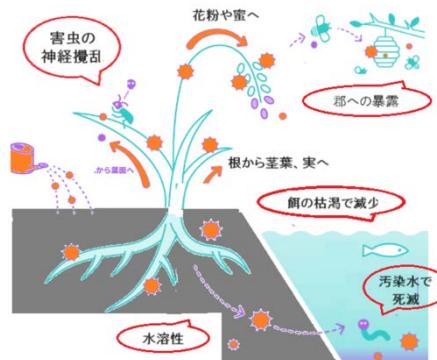
(単位:千円)	2020年実績	2021年実績と(20年→21年の差)	20年を元にした22年の試算(20年→22年の差)
収入金額	23,247	23,679	432
①肥料費	1,194	1,206	12
②農薬費	1,067	1,062	-5
③飼料費	1,596	1,671	75
④動力光熱費	981	1,064	83
①~④の計	4,838	5,003	165
農業所得(控除前)	3,513	3,506	-7
			2,732
			-781

農林水産省の「農業物価統計調査」

国産率と自給率は違います。国産率は輸入以外の比率。しかし自給率は、飼料も含めて国産でどれだけまかなっているかになります。だから牛肉も純国産は13%、卵も自給率は12%しかないです。

次にそこで、出される食はどうなってるのであるのかという話です。今日本で問題になっているのは、ネオニコチノイドという非常に水によく溶ける水溶性の農薬です。溶けた農薬が川に流れ、川の中で微生物や水中生物が死滅し

浸透性農薬 ネオニコチノイドの特徴



魚が減り、また蜂がこれを巣に持つててネオニコチノイドを拡散することで世界で1/4のミツバチが死んだと報告されています。ネオニコチノイド農薬を使ったマウスの実験が日本で行われています。四角い箱の中に、ネオニコチノイド非投与のネズミと投与したネズミを別々に入れる。非投与のネズミは非常に活発に動く。ところが投与されたネズミはほとんど動きを示さないという実験結果が出ています。びっくりします。このネオニコチノイドは赤ちゃんから大人までほとんどの日本人の尿から検出されています。この会場の参加者含めて皆持っているのです。

さらに食を巡って、遺伝子組換え食物、ゲノム編集食物、昆虫食や培養肉の問題が目の前

に来ている。

● 堺の学校給食と農業のこれから

有機農業のいま

そもそも有機栽培・有機農産物とは

- ・慣行栽培(一般的に行われている栽培法)-農薬・化学肥料使用 99.4%(面積)
- ・有機栽培-農薬・化学肥料不使用 0.6%

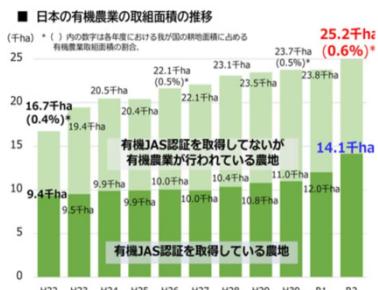
政府の目標

・「みどりの食料システム戦略」2021.5

温室効果ガスの削減

化学肥料の使用量30%手と威厳

2050年までに有機農業の栽培面積を25%に拡大



有機栽培の 2 つの農法に分かれます。慣行栽培は戦後より一般的に行われている農法です。

戦後、化学肥料とか農薬がどっと入り、それを使って農業が行われてきました。それが慣行農業。で、それは使わないというやり方が有機農法。農薬や化学肥料を使わない。この割合。

有機農法をやっている割合は全国で 0.6% なんです。それくらいしかありません。

政府は 2021 年 5 月に「みどりの食料システム戦略」というのを作り、化学肥料使用量を 30% に低減し、2050 年までに有機農業の耕作面積を 25% まで、つまり日本の農家の 4 分の 1 を有機農家にするという話なんです。こんなことはできるのか、これを見た途端に私の先輩は言いました。こんなことできるわけない、言っているだけ、アドバルーンあげてるだけだと。でもそういうふうにうたわれてはいるということです。

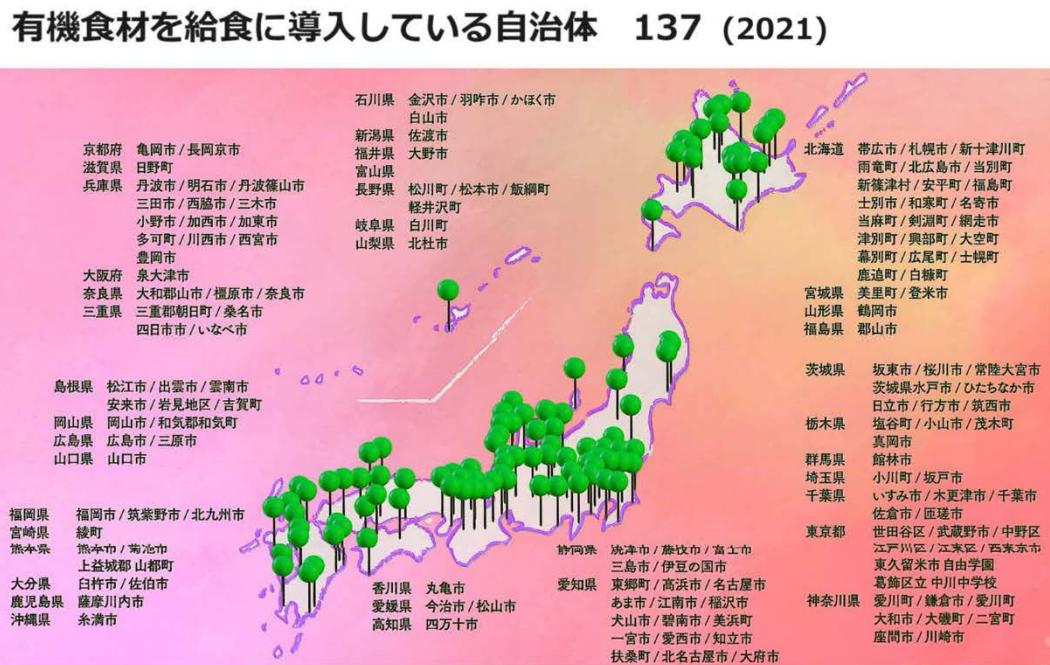
本題の「堺市の学校給食と農業

のこれから」に入ります。そもそも

そも有機農業、有機農産物とは何かということは皆さんご存知でしょうか。大きく分けて、慣行栽培と

ところが一方、今、全国に有機食料を給食に導入している自治体は 137、日本の約 1 割の自治体が、入れ方は様々ですが既に有機食材を入れています。10 年前まではもっと少なく

全国で広がる「有機給食」



1 行か 2 行レベルでした。それから 10 年間で有機農業、有機食材をずっと導入し始めたということです。

2 つの例を紹介します。まず千葉県のいすみ市です。2017 年に給食に有機米を導入しました。小中学校 12 校に導入。地元の有機米は、慣行米つまり一般米の 1.5 倍の価格で年間 42 トン買い上げています。合わせてここは給食費の無償化も実現しています。こうなると

どういうことが起こってるかというと、有機農家が拡大するんです。買ってくれるから。それとびっくりするのは、いすみ市役所への移住相談件数が、2014 年 168 件だったのが、2021 年は 700 件を超えているのです。千葉県木更津市も 2019 年から有機米の栽培を開始し 22 年から 50% を地元の有機米に切り替えました。ただかなり時間がかかります。

次に大阪府泉大津市。2023 年から保育所・子ども園 5 園、小中学校 11 校約 4800 人の給

食に有機米を入れています。有機米、特別栽培の味噌も使っています。市は事業予算を倍の4100万円にして実現させたのです。保護者負担は変えずに市の予算でこれ実現したのですが泉大津市が面白いのは、いい栄養士さんがいるのです。月2回「ときめき給食」というのをやっていて。アンコウ鍋とか郷土料理とか非常にバラエティーな豊かな給食を提供している。やっぱり心のある栄養士さんがいればだいぶ変わるんだなと思っています。

オーガニックの給食マップ、給食だんだんのサイトでは全国の給食の広がりを紹介しています。 オーガニック給食マップ <https://organic-lunch-map.studio.site/>

給食だんだん (CPP JAPAN) <https://organickyushoku.com/>

堺市の学校給食の今です。1996年7月にO-157集団食中毒が発生し、9523名が感染。3名の子どもが死亡しました。堺市は安全な給食をめざすということで、徹底的に加熱する、缶詰までも缶ごと加熱する、そこまで徹底しました。小学校92校、支援学校3校、今45,000食の給食を作っています。そしてできたのが6ブロックに分けてメニューと食材の使用をずらす。それによって食中毒予防を行うと。いい考えですが、それはそれでやりました。中学校は今は選択制です。給食費は表の通りです。中学校は市教委が献立を作り、調理は民間会社がやり弁当を運んでくるというやり方です。

ここで堺市農業の特徴についてですが。堺市の農産物の生産は府下トップなんですよ。2004年の統計では春菊の出荷が多く全国1位。小松菜も全国5位。軟弱野菜、葉物野菜の

堺市の学校給食のいま

1996.7 O157集団食中毒の発生
9523名が感染、3名が死亡
→安全な給食=徹底加熱
直営自校調理→民間委託方式
・小学校92校 支援学校3校 45780食
6ブロック区別献立・共同購入方式

・中学校
選択制 献立は市教委が作成-調理は民間→弁当配達
現在、全員喫食制へ向けて大泉中学校にて検証実施

給食費（保護者負担額）	
区分	1食あたり
低学年（1・2年）	245円
中学年（3・4年）	250円
高学年（5・6年）	255円

払込金額
20食分：6,735円
(6,600円+払込手数料135円)
90食分：29,835円
(29,700円+払込手数料135円)

周年栽培が行われている。農家数、耕地面積も実は大阪府下では一位を占める。同時に、都市近郊という立地条件から都市農業と言われています。しかしその一方で先ほど言いました通り、農業従事者の高齢化、耕作面積が縮小しているのです。

ここで考えていただきたいのは、1つはこれから給食と農業ですが、農業と食の抱える問題を、農薬の問題であるとか様々な問題含めまずは共有化することです。2つ目はやっぱり子どもの貧困を支える、体と成長を支える。3つ目が豊かな堺の自然、自然資源を守って生かす。そして有機農業を広げ、給食への有機食材の導入のプログラムを作る、こういったことが必要ではないかと思います。これを全部できるのが学校給食なんです。その市町村がどれだけ大事に子どもたち扱っているかは、学校給食を見ればわかるといわれます。

学校給食を変えるということは町の制度に止まらず町のあり方、町の質を変えるということなのです。

<質疑応答>

《司会者》 岸上さん田中さん質問票の中からお答えいただけたらと思います。よろしくお願いします。

《田中》 「『エコ農産物』はどう考えたらいいですか」。

慣行栽培、一般栽培の農薬と化学肥料を半分にする、これがエコ農産物です。その中にも化学肥料と農薬をゼロにした「不使用」もあります。一般野菜よりは農薬のレベルが低く設定されているのがエコ農産物です。正式名称は”特別栽培野菜”と言います。

次に、「栽培歴が通用しない、これはどういう意味ですか」という質問。

例えば、スナップエンドウ、南区であれば栽培歴では今まで11月1日にと決めて種を

蒔くことになっていたのです。なぜかというと、今までの経験の中でこの日に種を蒔いたら、これぐらいの苗の高さで正月を越して、4月5月にこれぐらい高さになって、きちっと実がつくということだったんです。ところが今は、11月1日だったらまだ暑いから、種をまいたら伸びすぎて冬を越せないってことがあるのです。色んな品目の野菜で起こってきています。今、畑はもう実験農場みたいなものですよ。去年は暑かったからこうやったけれども、ずらしてちゃんとできるかなと。こんなことが畑の中で起こっているということです。

《田中》「農業を教育課程に組み入れるような検討を」という質問。

全くおっしゃる通りです。

「有機農業は良いのですが、手間がかかりしんどいのではないか」

おっしゃる通り、しんどいです。特に冬の大根を洗う水を扱う作業などはやっぱり厳しいですね。

「堺の野菜を給食で使用することについて、さらに増やすことになった場合の農家の意見や反応」という質問。

実は堺の給食にも堺市産が使われているのです。例えば、しものファームという法人が扱う小松菜は堺でも学校給食で取り入れています。玉ねぎは、堺市農政部が年1回ですけども、全農家に玉ねぎを作ってくださいという通知が来ます。分かった作ろうという農家が手を挙げて、玉ねぎの時期5月6月が来たらそれを集荷場に持っていくのです。それを学校へ卸していく。玉ねぎは実現できています。地場産ということで、オーガニックではないですが。オーガニックのも一般の物と一緒にになって供給されているということです。

こういうやり方など創意工夫すればいくらでもできますし。各区毎にそういうのを作って

いくやり方でもいいし、月1回や2回から始めるということも可能だと思います。

『岸上』「給食費の無償化で家計はどれくらい助かりますか」という質問が来ております。

1ヶ月の給食費を申し上げます。4500円くらいです。学校によると思うのですが。私の学校は確か4500円ほどでした。それにかける子どもの数をかけます。2人3人いらっしゃる方は9000円だったり、1万円超えてきます。今年1学期に徴収があってびっくりされてる保護者さんたくさんいらっしゃいました。

『岸上』「いつから給食を『食育』というようになったのですか」という質問です。未だ必ずしも給食=食育というふうにはなってないのかなとは思うのですが。

「食育」という言葉が出始めた起源が書かれてる本があります。100年以上前に『婦人世界』という、今でいう『暮らしの手帖』のような生活啓蒙雑誌が発行されています。その時代に脚気などの栄養不足がもとになる病気が流行っていました、食生活を改善するために福井県で『婦人世界』という雑誌が、食生活改善を進める記事をずっと掲載していました。そういう流れの中で「食育活動」が一般市民の中に広まって。また福井県の小浜市で先駆けして「食育条例」っていうのができたそうです。

今の「食育」って言われているのは、この時代より緊急性というか逼迫性がなくて、ちょっとファッショングループみたいなところがあるのかな、って私は個人的に感じています。この時代は、本当に脚気のような栄養不足が原因で子どもたちも立ってもいられないような状況だったから必要に迫られて一般市民に広がったのですけれど。しかしながら今の時代も同じような状況になりうる状況だと思うのですも。なので、この時みたいにしっかり取り組めるような社会になってほしいなと思います。

<西 哲史議員>

僭越ながら補足させてもらいます。一昨年 9 月に委員会での議論では、小松菜が 96%、白菜が 85%、春菊が 95%、水菜は 92%を堺市の野菜を使用しているということです。お米は 164 トンの堺産米が使わ



れていて 39%の使用率だと今年 9 月に委員会で答弁をいただいてますのでご紹介しておきます。

クエスチontime：各市議に聞く 12 月市議会の論点 参考メモ

市民 1000 人委員会事務局

今議会では、永藤市長からは、前向きにも後ろ向きにも、めぼしい提案なし。以下、順不同で列挙。

- * **10/28-29 G7 大阪・堺貿易大臣会合** 市負担 6000 万円 「堺の魅力を国内外に発信」効果検証は？
- * **重度障がい者のくらしの場の確保**
施設入所希望者の多くが入所できない現状 GH(グループホーム)の数が足りない
政令市 20 市の中で 2 番目に入所施設が少ない堺市 (平均の半分以下)。2022/11 市議会で保護者陳述も。
- * **夢洲万博に子どもたちを「学校行事扱い」で 2 回？行かせようという計画**
府は税金で 6 ~ 18 歳の児童生徒を学校行事として行かせる。
さらに市町村には 2 回目を (府が 11 月に市町村に意向調査。12 月末回答は？)。
堺市が税金投入となると、1 億 3300 万円 + 事務費。
避難計画なしの防災計画しかない中で、南海トラフ地震等で避難施設もない陸の孤島に置かれるリスク
- * **S M I 大小路プロジェクトに公明党が異論**
「街づくり構想がない中で、移動手段が先行している (「堺のブランディング向上」) のはおかしい
- * **物価高騰非課税世帯給付金 (1 世帯あたり 7 万円) の給付遅れ** 2 月上旬からようやく給付開始
- * **物価高騰対策** 国施策以外に堺市独自対策は皆無
- * **来年度以降の給食費無償化継続**
国給付金頼みの姿勢のまま 予算編成でどうするか 文科省への働きかけは？
- * **堺東エリア整備提案書 (東急不動産等) の扱い**
市 HP から削除 「2025 年都市計画決定」と銘打っているが
- * **北こどもりハビリテーションセンター指定管理者公募**
応募した民間事業者に運営費で 10 点差を開けられたものの他項目でカバーし社会福祉事業団で

決定

5年後に再び公募 次は南リハセン指定管理者公募が

* 学校群 議論なし

* エコライフポイントは継続

1000 t CO₂削減を掲げてわずか5tという悲惨な結果にもかかわらず続行

* 『ガザ地区の即時停戦等を求める意見書』(案) 少数否決 (日本共産党、堺創志会、長谷川氏が賛成)

全国203議会で採択 東京都議会、三重県議会は全会一致 大阪府下では、枚方市、高槻市、茨木市、

摂津市、忠岡町、松原市、吹田市議会で採択

堺の市民運動が、市議会意見書採択に向けた各会派への働きかけを怠ったことが原因

* 『万博の中止を求める意見書』(案) 少数否決 (日本共産党、小堀氏、長谷川氏が賛成)

* 『加齢性難聴者補聴器購入公的支援制度創設を求める意見書』 維新以外の提案・賛成で可決
各市議に聞く“12月市議会の論点”

<森田晃一議員>

私には万博関連の質問が来ております。読ませていただきます。

「万博への児童生徒の参加は反対。子どもたちに参加の意味・効果が期待できない。交通・会場の混乱予想をされ危険である。経済・効果の理解のみで税金・労力が無駄遣い、会場に行かなくても出展予定の情報・映像が広く流れている」「今回の震災のような大規模災害が起これば、堺市は対応できるのか、夢洲万博に子どもたちを行かせるのは災害中の避難ができないということで反対だ」

私たちの政党として、元々は万博そのものに反対はしていましたが、やはり物価高騰の影響で建設費がすごく膨らんでいること、また建設スケジュールが厳しくなっていることを理由に建設労働者の労働規制を規制緩和しろというような意見が散見されるようになって、反対を表明しております。

その中で、先の堺市議会で「夢洲における防災計画ができているのか」という質問をしました。以前に質問した時は「秋には策定する」、12月議会の時点では「まだできていない」ということだったんですが、結局、防災基本計画は12月26日、年末ギリギリになってようやくできました。

その中身を期待して見たのですが、避難計画が書かれていない防災基本計画で、私はこれじゃ安心して子どもたちを連れて行けないだろうという感想を持っています。万博協会が言うには、「夢洲は10メートルほどかさを上げ、地盤も固めているので、液状化は起きない」と。さすがにそれは疑わしいのです。さらに夢洲に来ている人たちが避難するとなった場合ルートが限られています。そのルートをようやく渡ったとしても、「咲州・舞洲では液状化が起こる可能性が高い」と書かれています。つまり安心して避難できないということが、ここに書かれているのではないかと私は認識しています。



そういう中で大阪府が1回、府内の4歳から18歳の子どもたち、さすがに4歳、5歳は遠足でというのはなかなか難しい判断だと思うのですが、小学生、中学生、高校生、特別支援学校を対象に学校行事では是非来てくださいということで、学校側に依頼をかけています。学校に対しては、学校側の判断でそれをするかしないかは決めてくださいと言っているのですが、同調圧力というようなものがきっとあると思うので、校長先生なりが自分の学校だけ学校行事で行かないと判断できるのかということを考えると、なかなかそれは難しいのではないか。しかも、大阪府が学校に学校行事で来てくださいと依頼をかけた時点では、防災計画すらできていない時でしたから、何を判断理由にしてこれを決めればいいのかということも問題であるということを私は指摘してきました。

もう一つ問題なのは、2回目の子どもたちの無料招待です。これは各大阪府が各市町村に対して、2回目を行かせる気あるかどうかを今、調査をかけています。堺市は「検討中」と回答しているそうです。

このことについて、永藤市長に直接質問しました。市長の回答は、「こういう多様な文化に触れる万博に子どもたちが触れるのはいい機会だということで、今検討している」と言っているのですが、1回、大阪府がやるわけですよね。そこでもう一つ、また、堺市が改めてやる理由はないのに、ここでまた万博に触れるのはいい機会だということで答弁しているのはちょっと理解できません。

例えば大阪府がやるように4歳から18歳の子どもたちを堺市独自で無料招待するとなれば、堺市だけで、1億3300万円プラス事務費の経費がさらにかかるということも分かりました。お金だけの問題ではなくて、夢洲に子どもたちが行っている開催中、たくさん的人が来ているという予想がたてられています。そういうたくさんの人たちがいる状況の中で、今回のような大きな震災が起こったら子どもたちが安全に家に戻って来れるかどうか、私は保障できないと思います。大綱質疑で「もし開催中に子どもたちを連れて行っている最中にことが起こったら誰が責任取るのか」と質問したら「学校と教育委員会が取る」らしいです。取りようがないですね。こういう無責任なことは絶対にするなと言いたいです。

大阪府がする事業についてはチケットを配られるでしょうから、子どもたちに各々配って、行くかいかないかは家庭の判断にするべきだと私は求めました。これが学校行事で行くということになれば、家庭判断で家の子を行かせたくないと言って休ませると欠席扱いにもなってしまうのですよね。不利益が生じるようなやり方は良くないんじゃないかと指摘させていただきました。私はもう万博は即時、中止するべきだと思っています。

<渕上猛志議員>

渕上さんに質問とありますのでお答えします。私のチラシを見た方だと思うのですが、「小1小2の授業数は3学期から減るのでしょうか。不登校児が全年に比べる2倍近くもいることが気になります」と。

これはご存じのない方が大半だと思います。私が文教委員会



で取り上げました。文科省が1年間にこのぐらい授業しなさいと決めているのを標準授業時数といいます。標準授業時数は基本的に最低ラインというふうに校長先生はとらえているので、多めに授業するのが普通です。そのどれぐらい多めかというのに関して、全国的な学校は、年間でプラス40時間とか30時間ぐらい余裕を見て授業を組んでいるのですが、堺市のとりわけ低学年の小学校1年生が年間で平均で100時間、週2.5時間オーバーしています。

コロナ以降、小学校1年生2年生の不登校が顕著に増えています。これは関係があるのでないかと私が指摘をした件です。教育委員会は、基本的に関係性を認めていませんけれども、「やりすぎだ」ということは認めていて、「ちょっと是正を頑張ります」ということで、既に三学期から時間割を見直し始めている学校はいくつもあります。ただそれは校長先生の権限です。ただ時間割を減らすというのもありだし、時間割自体はそのままで授業をせずに、行事とか授業に当たらない何かイベントをするというのも校長先生の判断でやっていくだろうし、少なくとも来年度はこのあたりに見直されるだろうと思います。

もう一つはSMIプロジェクト(♯)についてのご質問。「大小路エリアにおいて、地域住民を置き去りに計画の目的や効果があいまいなまま進んでいる様子が見受けられる堺市の計画推進、スケジュールや内容をご教示ください」と(♯新たな交通システム基本方針 堺・モビリティ・イノベーション SMIプロジェクト)。

SMIはいくつかのプロジェクトをまとめていますが、メインは堺東と堺駅間の南海のシヤトルバスが走っている大小路路線を自動運転にしたいと永藤市長が言いたし、当初計画では万博の2025年には自動運転を走らせるとなっていますが、ほぼ間違いなく無理だと思

ます。

理由の一つは、既に計画がかなり遅れがちで、少なくとも当事者になる南海バスさんは全く準備できていません。2025 年には間に合わない。もう一つ理由があって、公明党がこの SMI プロジェクトには厳しい立場を取るようになりました。この 12 月の議会でかなり厳しく言い、今までの態度より明らかに変わっているように私には見えます。なぜ変わったかは推測の域が出ませんが、衆議院選挙も関係しているのかもしれません。私たちも共産党さんもこの計画にはかなり否定的な立場ですが、ありがたい応援団だと受け止めています。そうなった以上、2025 年に走らせようとしたら 24 年予算で勝負をつけなきゃいけないので難しいでしょうね。

<藤本幸子議員>

文教関係の質問についてお答えさせていただきます。

1 つ目は、「『新しい学校のあり方』の審議状況は」というご質問です。

学校群については、皆さんもさまざま心配があると思います。



ご存知のように、今年度は 5 つの中学校区でモデル実施されており、来年度はさらに、3 中学校区が加わります。来年度のモデル実施が終わりましたら、再来年度からは全校実施というスケジュールで今進んでおります。

今年度の実施状況で見てみましても、素晴らしい取組もあるにはあるのです。例えば「上神谷小学校の田植え体験を若松台小学校と合同で行う」などです。一方で、実施事例の中に中学校の英語の先生が加配で増やされ、その先生が中学校、小学校と英語の授業をしに行く

というの取組がありますが、この加配をうちの中学校区でもやりたいと全ての学校が手を挙げたら、それだけの加配の先生は付けられません。モデル実施された事例を希望してもそれは自分ところではできないという学校群も出てくる中で、全校実施になった時にじゃあ学校は何をするのかとなってきます。

平場で教育委員会と話をしている中では、「何をしなさいと押し付けることはありません。学校が自らこれをしたいということを提案し、それを学校群の中で実施することになります」というふうになっています。学校によっては自分たちの中学校と小学校で、中学校区内の小学校同士でいろんな取組みをしたいというものがあるとは思うんです。それを進めるのはいいかと思うんですが、そういう取組することがさらに負担になるという学校もあるのではないかと。でも、そんな中で全校実施するということが今決まっていますが、それが学校によって何かとりあえずやってみてそれでお茶を濁すというような結果にもつながっていくのではないかなど私は心配、懸念しているところです。

今、学校の中で本当に大きな課題が様々ありますが、一番は学校の先生が本当に不足しているということです。欠員が埋められない状況が年度を進むごとにひどくなっていくという中で、学校を子どもたちのためのどんな場所にしていけるのかをみんなで考えないといけない。次の質問もそこにつながるものかなと思います。

「前回の文教委員会で感じたことは子どもが大切に考えられていないということ。将来を考えて子どもを主人公の行政をするための手立てを提案ください」というご質問です。

今、公教育、義務教育、小中学校を見ていましてもやはり子どもが楽しく過ごせる場所になっているのか、多くの方の疑問ではないかと思います。保護者の方と話をしていても今の

小学校、中学校に子どもを行かすこと、これが子どものためになっているのかという声を本當によく聞きます。

先日の『夢見る小学校』上映会に多くの方が口コミも含めて集まったというのもやはり今 の義務教育がこのまでいいのかという疑問を多くの方が持たれているということであるかと思っています。そのためにできることを具体的に一つ一つ私たちも進めていかなければ ならないなと思っております。

具体的なことで言いますと、堺市では校則の問題がいろいろこれまで取り上げられても きましたけれども、去年の10月に「学校のきまりやルール（校則）の見直しガイドライン」 が堺市教育委員会から出されました。これは学校、子どもたち主体で今の校則を見直すとい う取り組みで、今年度末に向けてどういった見直しをするかが進められています。さまざ まな問題一つ一つを私たちが拾い上げて、それに対して子どもを中心にしっかり考えていく ということがこれから学校のあり方を決めていくかと思いますので皆さんのご意見を参 考にしながら私たちも頑張っていきたいと思っています。

<小堀清次議員>

「重度障害者のグループホームの不足について堺市はどのように考えているのか」というご質問をいただきました。この点について堺市、重度グループホームどころか障がい福祉について何も考えておりません。ですから大変厳しい批判を市議会の中でも今広げているところです。こういった点では党派を超えて今、保護者の皆さん方とあるいは社会福祉法人さんとも協議をしなが



ら、堺市が今、市有地の売却を今、試みています。その市有地の売却を認めてほしければ重
度グループ障がい者の施設を中心に盛り込むように計画を立てろということも今、水面下で担
当レベルとでは話をしています。実際のところはそんな状況です。

あわせて子どもリハビリテーションセンターの管理運営についてですけれども 12月議会
でご案内の通り従前の堺市社会福祉事業団が、1点差でしたけれども選ばれることとなりま
した。この点について前回高橋元副市長から強い思いの話をいただきました。一方で今の職
員、当時の職員一人も残ってません。その中でその思いがきっちり受け継げられているのか
という点についてはこれから約 5 年間にかかってますよということは、私から厳しくお伝え
をし、高橋元副市長の言葉も直接お伝えもさせていただいたところです。その中で 4 月から
毎日通園、これが既に実現をすることが 12 月議会で確約をいただきました。一つずつです
けれどもやっぱり高橋さんがおっしゃっておられた当時の思いに立ち返ってやっていただき
けたらしっかりと本市の障がい福祉も我々が一丸となれば、何の関心も示していない市長も
動かしていけるのではないかなと思っています。

<市民運動報告>

「夢見る小学校」上映会報告

塩野直美さん（「夢見る小学校」上映実行委員会）

「夢見る小学校」上映実行委員、塩野です。配布資料の中に

「実行委員の思い」という文と簡単な報告と後日の試写会の案

内を入れさせていただいています。当日は午前の部は 2 会場

設けて、午後は 1 会場ですが満席となり、約 300 名という、た

くさんの方に来ていただきました。私も知り合いに声をかけた



のですけれども、映画のことを知っていて今まで見たことなかったけど気になっていたので

行きたいというような方も何人もいて関心の高さを感じました。現役世代 40 代 50 代とか

の方にたくさん参加いただきました。

個人的には、きのくに子どもの村学園の自由な学びは素晴らしいな、もっと広がってほ

しいという気持ちと同時に、公立小中学

夢見る小学校 上映報告

開催日時：2023年12月17日（日）10時／14時
開催場所：サンスクエア堺
来場人数：合計 297名+α

	【午前の部】	【午後の部】	【合計】
大人	165	大人	99
		大人	264

【内訳】
前売券 84 前売券 43 前売券 127
オンライン 56 オンライン 39 オンライン 95
当日券 23 当日券 15 当日券 38
ゲスト 2 ゲスト 2 ゲスト 4

※高校生以下 34名+α

当日は大盛況！！
みなさまのお力で、オンライン前売券がなんと、
前日には完売御礼となりました。
改めて感謝申し上げます。

現役世代8（+シニア1）人の実行委員が、毎回
オンライン会議。
それぞれが自分の周りに広げました。

不登校29万人は、多様性や人権に敏感な今の子
どもたちに公教育が応えられていない結果ではな
いかとの強い問題意識が、「自分のままでいいん
だよ」と訴えたこの映画への共感となりました。

お話しではさのくに子どもの村学園に在籍された、
中津川さん・親子、朝田さん・親子からリアルなきの
くに子どもの村学園の話を頂きました大変有意義でした。

最後に運営面では機材トラブルによりご迷惑をお
かけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

問い合わせ先：西野 世子
090-1234-5678
nakai.capital@gmail.com

QRコード：
www.nakai-capital.com

校と違いに現実の差の大きさも感じまし

た。一方、通知表をなくした公立の伊那

小学校も紹介では、通知表というのは他

者との比較なので、そうではなくて、懇

談では子どもの伸びる部分を伝えている

というようなこととか、この小学校で 3

年目の教員の方が今までだったらどうし

ても子どもに対して指示をしていましたが、

この学校に来て子どもを信頼して待てる

ようになったということをおっしゃって

いたのが印象に残りました。公立学校でもできることがあると少し希望が持てました。

参加者アンケートを読ませてもらうと、みなさんが、改めて自分のこととして、それぞれ

上映実行委員の想い



萩野 壱

AI時代。
問題を解く知識より、問題を見つける力が求められます。

学校がいつまでも多数派一詰め込み型でいいのでしょうか。

教育に人と予算を！！
切に願います。



フォレスト

子どもたちが、テストの点数だけでは測れない、
それまでの得意分野での楽しいことを発見して、
自分が自身で働くことが出来たら、どんなに素敵だ
ろうか、と想像します。

どうすれば、子どもたちの「明るい未来像」を描
けるでしょう？

この映画を通じて、先生や保護者、そして教育に
関わる方々と一緒に話し合えたらと願っています。

娘の不登校を経験し、学校教育で多様な学び方
や学習環境が選択できるようになればいいなあ。
感じていたところに「夢見る小学校」の映画を
知りました。

実際に「きのくに子どもの村学園」を見学させて
もらい、子どもたちが自由に遊戯し活動している
様子で人が感動している。生活と学習の繋が
りなど、生きる力が社會の中で、まさに生きた
映像にあふれています。

今の学校現場は先生の負担が大きく余裕がない状
況だと思います。
みんなで、これからの中学校や家庭での教育の在り
方を考えていきたいです。



しおのなみ

娘の不登校を経験し、学校教育で多様な学び方
や学習環境が選択できるようになればいいなあ。
感じていたところに「夢見る小学校」の映画を
知りました。

実際に「きのくに子どもの村学園」を見学させて
もらい、子どもたちが自由に遊戯し活動している
様子で人が感動している。生活と学習の繋が
りなど、生きる力が社會の中で、まさに生きた
映像にあふれています。

今の学校現場は先生の負担が大きく余裕がない状
況だと思います。
みんなで、これからの中学校や家庭での教育の在り
方を考えていきたいです。



じゅんりん

【夢見る小学校】を観たとき、民主主義の縮図の
よかったです。

「単なる多幸法」や「効率よく」とか「時間厳
守」で物事を決めるのではなく、大人も子どもも
分け隔てなく、自分と違う意見も受け止めながら
日々のことを実践していく

大人が子どもを管理しやすくする学校の在り方や、
家庭、その他様々な場所における大人・子ども
関係について

いま一度、この映画を観て

1人でも多くの人に気付いて欲しい。

そして、保護者や教師、生徒などそれぞれの立場
を取って、みんなで考える時間を待ちたい。

そんな気持ちで実行委員の一員になりました。

未来を担う子どもたちが「効率よく」とか「時間厳
守」で物事を決めるのではなく、大人も子どもも
分け隔てなく、自分と違う意見も受け止めながら
日々のことを実践していく

未来を担う子どもたちが「効率よく」とか「時間厳
守」で物事を決めるのではなく、大人も子どもも
分け隔てなく、自分と違う意見も受け止めながら
日々のことを実践していく

みんなでこれからの新しい共通に夢をみて、ワク
ワクしましょう♪

の立場で、過去、現在そしてこれからの教育について、

また家庭での今後の子どもとの向き合い方について想

いを書かれておられるのが印象的でした。それだけ考

えさせられる映画、お話し会だったと思います。後日シ

エア会を1月20日にzoomで行います。「教育の主役

は子どもと保護者」という言葉がありました。みなさん

でぜひ映画の感想をシェアして、堺市で今後どういう

学びを学校を作っていくいかということ、知恵を出

し合えたらと思っています。締め切りが1月12日金曜日までになっていますので興味があ

る方は申し込んで参加してみてください。

「語りあう市民のつどい」報告～移動しやすいまち・堺をめざして～

文書報告・松永健治さん（堺市のバス・公共交通を考える会）

◆今回の「つどい」の概要

・開催日時：2023年12月24日（日）13時30分～16時30分

・開催場所：サンスクエア堺 第1会議室

・参加者：113名（リアル参加）+14名（ZOOM参加）

・参加者アンケート：37名の方から頂きました。

参加者アンケートには、概ね以下のようなご意見が寄せられました。

①宇都宮浄人先生の講演：「分かりやすかった」と大変好評。

- ・公共交通の大切さを具体的に教えてもらった。もっと、聞きたかった。
- ・計画段階からの市民参加の大切さがよく分かった。（パブコメですましてはアカン！）
- ・総合的なまちづくり・交通政策が必要だとよく分かった。等々です。

②4人からの報告

- ・それぞれ取り組みの大事さ分かった。
- ・盛りだくさんだったと思う。詰め込み過ぎだと思う。
- ・企画が欲張りすぎだったと思う。それぞれのことをもっと深める必要があると感じた。

③その他

- ・機材の事前チェックをしておいて欲しい。無駄な時間に費やされてしまった。
- ・南海バスに労働組合があり、そこからメッセージがあったことは心強い。

◎様々な立場からの自由な論議ができる場となっている。とても大切な活動だと思います。大変な準備ありがとうございました。今後の活動に期待します。

こうしたご意見が寄せられました。

翌日、宇都宮先生から「私も学ぶところがあり、会合は有意義だったと思います。堺・大阪には今後とも関わり続けることになると思います。引き続きよろしく」とのメールを頂きました。

また、共催団体の RACDA 大阪・堺からは「当初、宇都宮先生からお声がけを頂いた際には、前向きな論議の場が展開できるのかと不安ばかりでしたが、お立場が違う方々とも論議できただことが先ずは成果だと思います。LRT反対の急先鋒だった方から、大小路の歩道橋

の話題も提供されましたが、当時、私たちが考えていたことと同じだったことに驚きました。

また、主催者からの報告は、私も含め批判や活動結果の報告を中心でしたが、根拠ある数字に基づいた政策提案が必要だと感じています」とのメールです。

共催団体それぞれの視点・アプローチが違っていても、堺における公共交通とまちづくりへの思いを重ねる一步になったといえそうです。

◆今回の共同開催した「市民のつどい」の成果と課題について

①おでかけ応援制度の闘いを通じて公共交通とまちづくりを考えていた私たちと、LRTの取り組みを通じて公共交通とまちづくりを考えていたRACDA大阪・堺の人たちと「共同で開催」したこと自身に大きな意義があったと思います。

②しかし、それぞれの視点からの取り組みについて、まだまだ言いつ放し状態であり、リスクトしつつ、議論を重ねて深め合うことが必要だと感じました。

例えば、RACDA大阪・堺からは、LRT導入に反対した市長（竹山氏）に対して厳しい指摘もありました。

当時、竹山市長だけでなく私たちを含めて市民がなぜ「堺のLRT計画」に疑問を呈して反対したかを、とりあえず以下3点列挙おきます。

まず、誤解のないようにしておきたいのは、疑問を呈し反対していたのは「LRTそのもの」に対してではなく、当時堺市が導入しようとしていた「堺のLRT計画」に対してです。

①臨海部（シャープ工場前）への「堺のLRT計画」は、「LRT本来の役割」と合致するのか？

「LRT本来の役割」は、欧洲で実証済みのように道路空間を人々に開放し、暮らして

いる人々の生活を豊かにし、まちの再生に寄与することです。臨海部には居住人口ゼロです。しかも、臨海部へは高架（一部区間）でまたいで行く LRT（新型路面電車）の計画なのでした。

④LRTだけを先走って建設しても、本来のまちづくりにつながるのか？

例えば、阪神高速堺出口（大小路交差点に）から大量の車が流れ込んでくる現状がある。これをそのままにしておいて、LRTだけを導入しても、むしろ問題が起こるだけではないか？「LRTで街の再生」に成功した欧州の教訓は、クルマの規制と一体に、歩行者とLRTで豊かな街の空間をつくったことです。交通とまちづくりを一体で考えるべきではないのか。

⑤堺東駅と堺駅を結ぶ現在のシャトルバスで何の不都合もないという現状。そこに LRT を建設するという計画には、市民的合意があったのか？

そうした中で、LRT を建設するというならば、市民的議論・合意を図るための木原市長（当時）の本気度が問われていた。しかし、そのための戦略も具体的行動も市民には見えなかった。

以上の 3 点以外にも、そもそも堺における東西交通とは？そのための財源問題などを整理して深める必要があるように思います。

⑥基本的には、「堺の交通まちづくりのビジョン」を巡っての市民的議論が必要性だと感じました。

バス・公共交通を軸にしたまちづくりの必要性は、お互いに共通認識です。

しかし、堺市における交通まちづくりの基本的な構想・ビジョンを巡っての議論は、まだ

まだこれからです。堺市の都心部のあり方と7つの区とのつながりや電車・路面電車・バス・自転車の役割分担・位置づけ・考え方など。そして何よりも、“暮らしを支える移動手段・交通”をどう考えるのか？こうしたことについて、私たち自身がもう少し学習・議論を深めながら、相互理解を広げ、共通認識を拡げていく必要があると思います。

◆今後について

先ず、私たちの「会」自身として&RACDA大阪・堺と共同で、今回の「つどい」の総括議論をした上で、今後の取り組みを相談をしていきたいと思っています。

なお、RACDA大阪・堺からは、とりあえず「共同での勉強会」を継続して行おうとの話が出ています。ありがとうございます。

なので、共同での取り組みを重ねながら、遅くない時期に何らかの形で呼びかけをさせて頂くことになると思います。その際には、ご協力頂くようお願いします。

私たちの取り組みに対して、忌憚のないご意見を寄せて頂けたら有難く思います。

<訴え>

丹野優さん（住みよい堺市をつくる会）



住みよい堺市をつくる会の丹野と申します。

2月4日日曜日にフェニーチェ堺で2024年新春学習交流会を開催させていただきます。

市民の運動に学び語り合うつどいということで、一昨年6月19日杉並区で岸本聰子さんが画期的な勝利をおさめました。その時の選対本部長を務めた内田聖子さんをお招きしております。この選挙が画期的だったわけですが一足飛びにそうなったわけではなく、それまで

にいろいろ杉並区で様々な住民運動、市民運動が展開をされてきたということもありますので、そういうことを直接にお聞きしてこれからの堺市政どうしていこうかということに対する思いなども交流をしながら集まるそういうつどいにしていきたいなと思っております。

住みよい堺市をつくる会

2024新春学習交流会

-市民の運動に学び語り合うつどい-



講演 内田聖子さん
(NPO法人) アジア太平洋
資料センターPARC共同代表

2022年6月の杉並区長選挙で、幅広い市民の運動も背景に、岸本聰子さんが画期的な勝利をおさめました。この選挙で岸本選対本部長をつとめられた内田聖子さんをお招きして、私たち自身が、杉並区民の取組みや海外の市民運動などから住民自治と民主主義を学び、堺市民が主体の地域・市政をつくる運動にどういかしていくのか、などについて語り合うつどいです。ぜひご参加ください。

2/4(日) 開会13時30分～16時30分
受付開始 13時

保育有り〼
QRよりお申込み下さい

会場 フェニーチェ堺
3階 文化交流室



主催) 住みよい堺市をつくる会 堺区北花田口町3-1-15 TEL223-9182

極的にご参加をお願い申し上げたいと思います。

<行動提起>万博を中止し、その費用全額を能登半島地震被災地支援に

<堤淳雄さん>



1月1日に、とんでもない震災が起きました。現地では、非常にたくさんの方が救援を待っているという状況が続いているということを聞いています。こういう状況の中で、大阪府が何をすべきか。全てに優先して、

人の命を助けるために大阪が持てる人材、資材を回せるだけ現地の方に回して、救済に力を入れたほうがいい。そのためには万博を中止し、それによって生まれる資金、資材、人材の全てを救済、復興支援に回していただきたいということを大阪府の知事に訴えたいと思って

います。ご賛同いただける方は、4時15分から約1時間ほど中百舌鳥駅で通りすがりの方にご寄付も含めて訴えたいと思っていますので時間の許す方はご参加いただけませんか。

<田中晋一さん>



私の故郷が輪島なんです。丸焼けになった市の中心部から20キロほど国道249号線で珠洲の方へ向かっていった所。孤立して未だに携帯も、電気も一切何にも通じていない。かろうじて2日ほど前にそこに住んでいる同級生から電話があったので、「どこから電話したんや？」って尋ねたら、「山間の道を迂回して数時間かけて穴水まで出てきた。そこで金沢に住んでいる息子たちから支援のものを受け取る。体は元気やけど何も考えることもできない」と。すべて潰れています、お寺も神社も。彼の家はかろうじて形は残ってるけど、大半、壊滅的に潰れたようです。命からがら助かったことだけやと言つたが、そういう実態で、今だに不明者の数字にもカウントされていないんだろうと



いう人が山間部にいっぱいいます。一刻も早く現地に行きたいですが、なかなか行くこともできませんので、せめてできるのは募金と私たちの関心を常に強く持って、これから先に大きな手助けになるようなことをこの場の方からもできたらと。今日はこういう形で皆さんと一緒に是非募金活動をしたいと思います。至るところで皆さんと一緒に募金活動できればと思っています。

能登半島地震救援募金に、会場参加者と中百舌鳥駅前の市民から 62541 円が寄せられ、その全額を輪島市に送金しました。

<閉会挨拶>

小松清生さん（市民 1000 人委員会事務局）

皆さん、今日はありがとうございました。とっても素晴らしいテーマで学習会を持つことができ、自分自身学ぶことが多いありがとうございました。

泉大津で脱脂粉乳の給食を食べて育ちました。泉大津市の話、うれしかったです。近くで調べに行ったらすぐヒントをも



らえそうな自治体があることで勇気づけられました。

私は作るのも食べるのも飲むのも大好きで、今年ももう何度も集まって語り合っていますが、「京都大学は食堂に付属の大学や」というぐらいの学者さんがいるんですね。今朝NHK ラジオでやってたんです。斎藤幸平さんのお仲間で京大の藤原辰史さんが『コモンの「自治」論』という本と一緒に出されています。「美味しいご飯を食べたいと考えたら、世の中の仕組みを全て変えていかなあかん。バラバラじゃダメ、公共でないと。資本主義に任したら何食べさせられるか分からぬ。何でも儲けようとしてるんや、こんな世の中変えなあ

かん。」と。すごいですね。

そういう研究している人もいらっしゃる、しっかり学んで、頑張っていかなあかんなと思っています。

バラバラの市民じゃなくて、手をつなぐ仲間がいるという堺を大切に、みんなで頑張っていきたいなと思います。

元日に辛い出来事があったんですけど、今、堤さんが訴えて下さったように、今までは「万博はしゃあないな」と言ってた人も、「こんな時に万博しててええんか。本当にこの世の中、変えるために国民の安全の保障のために、万博やめて被災者支援にしようと、命を守る政治に変えよう」と言った訴えがしやすくなりました。それが開会の挨拶で、笑福亭竹林さんが言ってくださったことじゃないかなと思います。

今年も皆さん、手をたずさえてがんばっていきましょう。みんなでワクワクしましょう。

新年からいいつどいをしていただきました。ありがとうございました。



【1000人委員会の輪を拡げて下さい】
 ワンコイン500円で市政を変えよう
 お知り合い、ご友人にお声をかけて下さい。
賛同人は1315人(12月31日現在)です
 みんなでつくろう ええまち堺 市民1000人委員会
【第5期会計(8ヶ月中間)報告】
 自 2023/05/01 至 2023/12/31

〔収入の部〕 賛同金収入	318, 500円
販売収入	35, 460円 (『振り返り/市政レポート14号』)
寄付金収入	303, 209円 (選挙会計等残余)
収入の部合計	657, 169円
〔支出の部〕 会議・集会費	11, 290円 (第11/12回市政学習会、事務局会議)
通信費	271, 781円 (『振り返り/市政レポート14号』等発送費)
印刷費	281, 476円 (『振り返り/市政レポート14号』等)
消耗品費	24, 645円 (封筒、用紙等)
支払手数料	2, 475円 (振込手数料)
支出の部合計	591, 667円
〔当期収支差額〕	+65, 502円
〔前期繰越金〕	338, 425円 (第4期末2023年4月30日)
〔残高〕	403, 927円 (2023年12月31日現在)
(内訳) 現金	32, 398円
郵便振替口座	23, 675円
ゆうちょ通常貯金	324, 129円
立替金	23, 725円 (『夢みる小学校』上映実行委員会)
	／計403, 927円

2024年賛同金 (一口500円) を本日、受付にてお支払いいただけます。

もしくは、下記にお振込みください。

* **郵便振替口座：記号00930-7-番号325186**

加入者名：市民1000人委員会 シミンセンニンイインカイ

* **ゆうちょ銀行・通常貯金 記号：14010 番号：69946591**

加入者名：市民1000人委員会 シミンセンニンイインカイ

他の金融機関から振り込む場合は、

【店名】ヨンゼロハチ (四〇八) 【店番】408

【預金種目】普通預金 【口座番号】6994659 (7桁)



2024年1月発行
編集 市民1000人委員会
発行者 市民1000人委員会
〒590-0959
堺市堺区大町西三丁1番29-502号
TEL 072-229-6331
FAX 072-242-6315
Email Q Y D04504@nifty.com



～たたかう 市民～

振込先

◆郵便振替口座

加入者名：市民1000人委員会 シミンセンニンイインカイ
記号：00930-7-325186

◆ゆうちょ銀行 通常貯金口座

加入者名：シミンセンニンイインカイ
記号：14010 番号：69946591

※他の金融機関からの振り込みの場合は

店名：四〇八 ヨンゼロハチ

店番：408 種目：普通預金 口座番号：6994659

価格 300円